

平成 26 年度地域医療・介護連携推進事業 一関コミュニティFM (FM あすも) 番組  
放送日：平成 26 年 10 月 8 日 (水) 17:20~17:30 (塩竈一常 GET KING!!)  
(再放送：10 月 12 日 (日) 9:10~9:20 REFRESH!!)

「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」

第 7 回放送 一関西部居宅介護支援事業所協議会 氏家健司 会長

(聞き手：FM あすも 塩竈一常)

**塩竈** 「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」一関では高齢化が進む中、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう医療から介護への切れ目ないサービスを目指しています。このコーナーでは、医療機関や介護施設の役割、またその利用方法など、医療、介護、福祉の関係者と市民が共に理解協力することを目的に一関市健康づくり課の提供でお送りします。

**塩竈** 「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」のコーナーです。今日スタジオにお越しいただきましたのは、一関西部居宅介護支援事業所協議会の氏家健司会長にお越しいただきました。氏家さん、よろしくお願ひします。

**氏家** よろしくお願ひします。

**塩竈** 氏家さんは、花泉にあります在宅介護支援センター「華松苑」に勤務をされていらっしゃいます。さて氏家さん、会長を務めていらっしゃいます、この「一関西部居宅介護支援事業所協議会」、まずはこれはどういった協議会なのか教えてください。

**氏家** 平成 19 年に発足しました会で、会員は、旧一関市、旧花泉町並びに平泉町の「居宅介護支援事業所」、「地域包括支援センター」、「小規模多機能型居宅介護支援事業所」を会員としております。

**塩竈** なるほど。介護というところをこう聞くと、今出てきたような施設の名前がよく出てくるんですけども、まず氏家さん、「居宅介護支援事業所」というのは、一体どういった施設に

なるのでしょうか。

**氏家** 「居宅介護支援事業所」というのはですね、ケアマネジャー（介護支援専門員）が、居宅介護サービス計画、良く言われるケアプランを作成しまして、その計画に基づいて介護サービスの提供が確保されるように、いろいろなデイサービスであったり、ヘルパーさんなどのサービス事業所との連絡調整を行っております。在宅介護サービスを受けている要介護認定者やその家族からいろいろな相談などを受けた場合には、説明の提言なども行っております。

**塩竈** なるほど。自宅でそういった介護っていうところに、これから取り組んでいこうっていう方が、まずいろいろな相談する場所っていうふうにつえたら良いのでしょうか。

**氏家** そうですね。

**塩竈** さらに、「地域包括支援センター」、これはどういったものなのでしょうか。

**氏家** 地域包括支援センターと言いますが、この一関地域では「高齢者総合相談センター」とも言ひまして、介護保険の法律で定められました地域住民の保健、福祉、医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関です。一関市内では、東も含めまして、一関市役所と千厩支所の中に包括支援センターがありまして、あとその他ですね、平泉、花泉、渋民、藤沢に高齢者総合相談センターがございます。

**塩竈** こういった今ご紹介いただきました地域包括支援センター、さらに先ほど紹介していただきました居宅介護支援事業所、この他にも小規模多機能型居宅介護事業所、いろいろ皆さんが会員になっているということですね。この会員の皆さんとの連絡、調整を行うのが、この介護支援事業所協議会ということですね。主な活動なんですけれども、氏家さん、こういった活動があるのでしょうか。

**氏家** 主な活動としましては、年に2回から3回研修会を通じまして介護支援専門員のスキルアップを図っておりますし、あとは、介護支援専門員相互の連携強化と関係機関とですね「顔の見える関係の構築」などを行っております。

**塩竈** 今、お話をいただきましたこの会員事業所の中には、居宅介護支援事業所、それから地域包括支援センターというのがあるっていうふうにご紹介しました。もう1つ今話に出たのが、「小規模多機能型居宅介護事業所」というものですね。これは一体どういうものなのでしょうか。

**氏家** こちらはですね、小規模な住宅型施設への「通い」を中心に、自宅に来てもらう「訪問」のヘルパーさんに来てもらうってことですね。あとは「施設」に泊まるサービスを提供しております。こちらの施設にも介護支援専門員が配置されておましてサービスの調整を行っております。

**塩竈** このような取り組みというのが、その町の中で、いろんなその行政も含めて、それから介護の事業所の皆さんっていうのが集まって、より良いサービスを皆さんに受けていただけるように、また、効率的にそういったものが動いていくようにという、そういった調整をされているということです。氏家さんは、ケアマネジャーというお仕事なんだそうですけれども、介護支援専門員っていうふうには呼ばれる訳ですよね。

**氏家** はい。

**塩竈** ケアマネジャーというのは、一体どういった人なのかっていうのを、あらためて教えていただけますか。

**氏家** ケアマネジャーっていうのはですね、要支援とか要介護の認定を受けた人からの相談を受けまして、先ほども話しましたケアプランを作成しまして、介護サービス事業所との連絡調整を行っております。あと、利用希望者や家族がどのような介護サービスを希望するか、まず面接を行いまして、その後にアセスメント、あとは最後にプランを作りまして、その後は定期的なモニタリングを行いまして、介護者の状況に合わせてまた計画を立て直していきます。

**塩竈** なるほど。今まさに介護というところに直面している世代の方と、それから、これから将来そういったところに、たぶん向き合っていくだろうという世代の方がいらっしゃると思うんですね。後者の場合は、まずはこういった所に相談して良いのかっていう、そこからもう全く分からないって方が多いかと思うんですけれども、そういった世代の方からすると、その介護っていうところにいざ将来直面した時には、このケアマネジャーさんと向かい合うってことがまず多くなるのでしょうか。

**氏家** そうですね。

**塩竈** 一番最初っていうのは、こういった相談というのをお受けになったりすることっていうのが多いですか。

**氏家** 一番多いのは、やはり自分の親が病院に入院したが、家で介護できないということで、どのように今後介護していけば良いかという相談が一番多いです。

**塩竈** そうですか。そういった皆さんからのお話を聞くところから、様々なプランニングに繋がっていくわけですね。最初が面接からスタート、さらに介護サービスが必要かどうかをまずはその査定するところから始まっていく、さらにプランニングに繋がっていく。それぞれ

やっぱり当事者の方もそうですし、家族の皆さんとのその話し合いをより深くしていくっていうのがすごく大事なんですね。

**氏家** そうですね。

**塩竈** その仕事に取り込まれるに当たって、氏家さん、心掛けていらっしゃるって何かありますか。

**氏家** まずは傾聴ですね。よくご利用者さん、ご家族の話をまず聞くということが、まずは一番大事だと思います。

**塩竈** そうなんですね。このプランニングっていうのが始まりまして、その後に様々なサービスを利用していただく、場所であったりとか、それから具体的にどういったものやっつけていくかっていう、その介護にいいよ入っていくってことですね。その介護サービスが上手く動いているかどうかっていうところをチェックするという役割も介護支援専門員の方の役割の1つなんですね。

**氏家** そうです。

**塩竈** 今、一関の辺りですね、氏家さんが一関西部居宅介護支援事業所協議会の会長を務めていらっしゃるんですけども、身近な所ではこのケアプランを作ったりとかする介護支援専門員の皆さんっていうのは、大体どのくらいの人数になるんでしょう。

**氏家** 当会では、会員事業所は 29 事業所ございます。その他、包括支援センターが 2 事業所、在宅介護支援センターと呼ばれるものを併設されている事業所が 12 か所、小規模型多機能事業所が 2 か所ございます。大体総勢約 100 名前後のケアマネジャーさんが在籍しております。

**塩竈** そうなんですね。ケアマネジャーさんの人数もそうですし、それから様々なその事業所があったりとかっていうことなんですけども、よりこの質の高いサービスを提供していくに当

たって、やっぱりその地域ごとにその特性って言いますか、こういったものもきっとあるんでしょうね。あの、一関のだから、特に介護っていうところで見ると、こういった特徴的なものがあると気付くところってありますか。

**氏家** 問題となっているところは、やはり老老介護、ご老人のご夫婦での介護、あとは独り暮らしの高齢者、または、その独り暮らしなんですけど認知症になっている方が 1 人で自宅で生活されているっていうことが、それに対しての支援っていうことが 1 つの問題となっております。

**塩竈** こういった協議会で取り組まれている皆さんというのは、その地域の特性もそうですし、それからそこに秘められているその問題点と言いますか、いろいろ抱えているところというのはよく見えているかと思えますけれども、こういったものっていうのをまた実際にその介護っていうところだったら、家族の皆さんであったりとか、地域の皆さんというのが事前にいろんな情報を知っておくってのは、やっぱり大事ですね。この協議会を通じてですね、皆さんにそういった介護の支援のネットワークを築いていこうというんな取り組みをされているってことで、平成 24 年度には会員の名簿が作成されたということなんですね。これはこういった内容なんでしょうか。

**氏家** 元々はですね、一関東部地域居宅介護支援事業所協議会というのがございまして、そちらの方で先に写真入りの会員名簿というのを作成しまして、それでとても評判が良いという噂を聞きまして、じゃあうちらでもやってみようかということで始めまして、24 年度作成した時点で、一関市医師会、一関歯科医師会、一関薬剤師会、あとは医療ソーシャルワーカーが配属されている病院や、行政窓口などに配布させていただきました。

**塩竈** これまで医師会の方ですとか、歯科医師会の皆さん、薬剤師会の皆さんなどにもお越しいただいてお話を伺ったんですけども、その

医療だけではなく、その介護もそうですし、予防のところもそうですし、いろんなところがこうやって情報交換っていうのを密にしておくっていうのは、やっぱりすごく大事なってお話を聞きますね。今日はお話を伺っているのが、一関西部居宅介護支援事業所協議会ということなんですが、一関市ではこの他にも東部にもこういった協議会があるそうですね。

**氏家** そうです。

**塩竈** それぞれ西部と東部を拠点に活動されていると、それから個人の介護支援専門員を会員とする両磐地区介護支援専門員協議会、こういった取り組みもあるということです。その今お話も出てきましたけれども、いろんなその取り組みっていうのが連携を密にしておくっていうのがとても大事になってくるっていうところが、今日は分かりました。さて氏家さん、こういった介護サービスに関して、まずはいろんなその相談であったりとか、素朴な疑問とかいろんなもの持っていらっしゃる方いるかと思うんですけども、こういった相談があった時には、一体どちらに問い合わせをしたほうがよろしいでしょうか。

**氏家** 事業所の数がちょっと多いので、まず、一関市役所並びに各支所、及び平泉町役場の保健福祉窓口のほうに相談してもらえればと思います。

**塩竈** なるほど。そうなりますと、どこにまず相談すると、効率的にいろいろ物事が進んで行くっていうのを教えていただけるわけですね。皆さんのお近くのその相談の窓口、今まさに直面している皆さんっていうのは、そういった相談っていうのは普段もされているかと思いきれども、これから先、自分にもまたそういった可能性があるという皆さんは、事前にいろいろな知識っていうのを、こういった窓口をこう利用して身に付けていただければと思います。今日の「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」のコーナーですが、一関西部居宅介護支援事業所協議会の氏家健司会長にお越しいた

きまして、お話を伺いました。氏家さん、ありがとうございました。

**氏家** どうもありがとうございました。

**塩竈** このように様々な団体、関係機関などがお互いに連携、協力しながら、1人でも多くの皆さんが、この住み慣れた地域で安心して生活できるように、これからも地域の皆さんとともに介護支援の歩みを進めていきます。今日は一関西部居宅介護支援事業所協議会について、氏家健司会長へのインタビューをお送りしました。

**塩竈** 私たちが住んでいるこの町では、高齢化が大変進んでいます。住み慣れた地域で安心して暮らせるように、医療、介護への切れ目ないサービスを目指しているいろいろな取り組みを行っているんです。このコーナーでは、医療機関、介護施設それぞれの役割、またその利用方法などを私たちがしっかり理解してこの町づくりにしっかり協力することを目的にしてコーナーをお送りしています。地域医療体制の充実のため、私たちも積極的に関わっていきましょう。「医療と介護の窓～みんなで育てよう地域医療～」このコーナーは一関市健康づくり課の提供でお送りしました。